

終戦、そして広島・長崎への原爆投下から 70 年。いくら歳月が流れても、決して忘れてはならない悲劇、風化させてはならない過去があります。

私たちの子どもや孫の世代に、戦争のない平和な未来を贈りたい。しかし、世界には約 1 万 6 千発もの核兵器が拡散しているのです。現実から目を背けることなく、平和の尊さを見つめ直す 70 年目の新たな誓い。平和都市を宣言する杉戸町は、今年も平和企画展を開催しました。

8 月 19 日（水曜日）から 23 日（日曜日）まで、カルスタすぎとにおいて「杉戸町平和企画展」を開催しました。終戦・被爆 70 年の節目にあたる今年の平和企画展は、『70 年目の新たな誓い』と題し、広島・長崎に投下された原子爆弾（原爆）被害の実態と、核兵器の非人道性をテーマに開催しました。

オープンギャラリーでは、原爆の被害状況を今に伝える写真パネルや、被爆によって溶けた瓦・ガラス瓶などの現物資料、壁一面に「きのこ雲」を表現した黒田征太郎氏の絵画展のほか、今年で制定 20 周年を迎える「杉戸町平和都市宣言」を紹介するコーナーを設置しました。また、去る 8 月 6 日、広島平和記念式典に古谷町長が歴代町長として初めて参列し、その時の様子を紹介するパネルなども展示しました。

最終日の 23 日（日曜日）には、多目的ホールにおいてイベントを開催し、約 150 名が来場されました。原爆被害の悲惨さを伝える映画の上映や、東京都立第五福竜丸展示館より安田和也氏を講師に招いての講演のほか、町内在学の中学生による作文の朗読発表も行われ、平和の尊さについて真剣に語る若者たちの姿に来場者は胸を熱くしていました。

終戦・被爆から 70 年。戦争の直接体験者が減っていく中で、過去の惨禍をしっかりと未来へ語り継ぐこと。平和の尊さについて考える、大切な企画展となりました。

■ イベント

日時 8 月 23 日（日曜日） 14 時～17 時（開場／13 時 30 分）

場所 カルスタすぎと 多目的ホール

費用 無料（事前申込不要・入退場自由）

定員 250 名

内容 ・映画上映

「にんげんをかえせ」（上映時間 20 分）

※実録映像を含むため、低学年・幼児等の視聴はご注意ください。

「つるにのって ～とも子の冒険～」（アニメ・上映時間 27 分）

・映画解説および原爆被害に関する講演

講師／（公財）第五福竜丸平和協会事務局長 学芸員 安田和也 氏

・中学生による作文の朗読発表

・平和祈念植樹（広島市提供の被爆アオギリ 2 世の苗木を植樹します）

■特設展示

日時 8月19日（水曜日）～23日（日曜日） 9時～21時

場所 カルスタすぎと オープンギャラリー

費用 無料

- 内容
- ・広島・長崎の原爆被害に関する写真パネル・資料展示
 - ・黒田征太郎絵画展「核兵器廃絶へのメッセージ」（複製画）
 - ・古谷町長による広島レポート ～70年目の新たな誓い～
 - ・制定20周年「杉戸町平和都市宣言」を次の世代へ

主催／杉戸町

共催／杉戸町教育委員会、杉戸町国際交流協会、学校法人昌平学園 昌平中学・高等学校

協力／都立第五福竜丸展示館



カルスタすぎとの中庭
（国体記念運動広場側）
に記念植樹された、広島
市から提供された被爆樹
木「アオギリ2世」の苗
木。

平成27年度 杉戸町平和企画展

70年目の新たな誓い



原爆で焼失した広島(米軍撮影)

終戦、そして広島・長崎への原爆投下から70年。いくら歳月が流れても、決して忘れてはならない悲劇、風化させてはならない過去がある。

イベント

8月23日(日)

14時～17時(開場 13時30分)

カルスタすぎと 多目的ホール

入場無料(事前申込不要・入退場自由)

定員250名 ※満席となる場合もございますので、予めご了承ください。

- ・映画上映「にんげんをかえせ」(実録映像・上映時間20分)
「つるにのって ～とも子の冒険～」(アニメ・上映時間27分)
- ・映画解説および原爆被害に関する講演
講師／(公財)第五福竜丸平和協会事務局長 学芸員 安田和也氏
- ・中学生による作文の朗読発表
- ・平和祈念植樹(広島市提供の被爆アオギリ2世の苗木を植樹します)

特設展示

8月19日(水)～23日(日)9時～21時

カルスタすぎと オープンギャラリー

入場無料

- ・広島・長崎の原爆被害に関する写真パネル・資料展示
- ・黒田征太郎絵画展「核兵器廃絶へのメッセージ」(複製画)
- ・古谷町長による広島レポート ～70年目の新たな誓い～
- ・制定20周年「杉戸町平和都市宣言」を次の世代へ

共催／杉戸町教育委員会、杉戸町国際交流協会、学校法人昌平学園 昌平中学・高等学校
協力／都立第五福竜丸展示館

主催・問合せ 杉戸町住民参加推進課 ☎0480(33)1111(代)

〒345-8502 埼玉県北葛飾郡杉戸町清地2丁目9番29号

映画紹介

8月23日(日) 14時～ カルスタすぎと多目的ホール にて上映



にんげんをかえせ

(昭和 57 年制作／カラー／上映時間 20 分)

企画・制作／子どもたちに世界に！被爆の記録を贈る会

監督／橘 祐典

ナレーション／大竹しのぶ

「10フィート映画運動」によって、アメリカ国立公文書館に眠っていた原爆映像を入手し制作した作品。この運動は、アメリカ所有の映画フィルム10フィート(約3メートル)を1単位として市民

のカンパにより買い戻そうとする、昭和50年代に沸き起こった運動です。

その集大成として、反核・平和の記録映画3部作が制作され、その第1部作品が「にんげんをかえせ」。米軍により撮影された実録映像と被爆された方々の証言により、原爆被害の悲惨さ、非人道性を呼びかけています。

※実録映像を含むため、低学年・幼児等の視聴はご注意ください。

つるにのって ～とも子の冒険～

(平成5年制作／カラー／上映時間27分)

ウィッセンブール国際児童映画祭 観客賞受賞・国連軍縮本部上映作品

原案／ミホ・シボ

脚本・監督／有原誠治

核兵器廃絶の願いをアニメーションで世界の子どもたちに伝えようと、平成元年に発足した「世界の子どもに平和のアニメを贈るピースアニメの会」による作品。小学6年生のとも子が、夏休みに広島で出会った裸足の少女サダコとの不思議な旅を通して、原爆の悲惨さと平和への思いを描いています。

英語版・フランス語版も制作され、これまでに世界65カ国以上で上映されました。



絵画展アーティスト紹介

8月19日(水)～23日(日) 9時～21時

カルスタすぎとオープンギャラリー に展示



黒田 征太郎 くろだ せいたろう

昭和14年、大阪生まれ。イラストレーター、グラフィックデザイナー。米軍軍用船員など多くの職業を経て、昭和44年に長友啓典氏とデザイン事務所K2を設立。平成4年にはニューヨークにアトリエを構え、現在は北九州市を拠点に幅広いアーティスト活動を展開しています。

音楽に合わせて絵を描くライブペインティングを中心に、平和・核兵器廃絶を呼びかける力強い作品で知られています。「PIKADON プロジェクト」を広島・長崎など全国各地で開催したほか、昭和29年ビキニ環礁水爆実験で被爆した遠洋マグロ漁船第五福竜丸のイラストを数多く描いています。

会場アクセス

杉戸町生涯学習センター カルスタすぎと ☎ 0480 (31) 2111

〒345-0042 埼玉県北葛飾郡杉戸町大字大島 477 番地 8

県道26号境杉戸線「杉戸」交差点を北西方向に曲がり、800mほど直進して右折してください。案内看板があります。【駐車場 100 台完備】

平成 27 年度 杉戸町平和企画展 ～70 年目の新たな誓い～

来場者アンケート集計結果

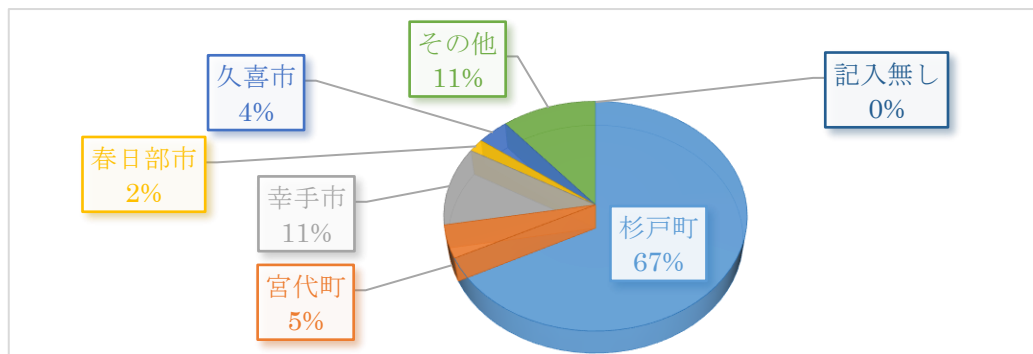
開催期間：平成 27 年 8 月 19 日（水）～ 23 日（日） 9 時～21 時

開催場所：杉戸町生涯学習センター カルスタすぎと

・ アンケート回収数

回収日	回収数
8月19日（水）	13
20日（木）	16
21日（金）	16
22日（土）	14
23日（日）	49
合計	108

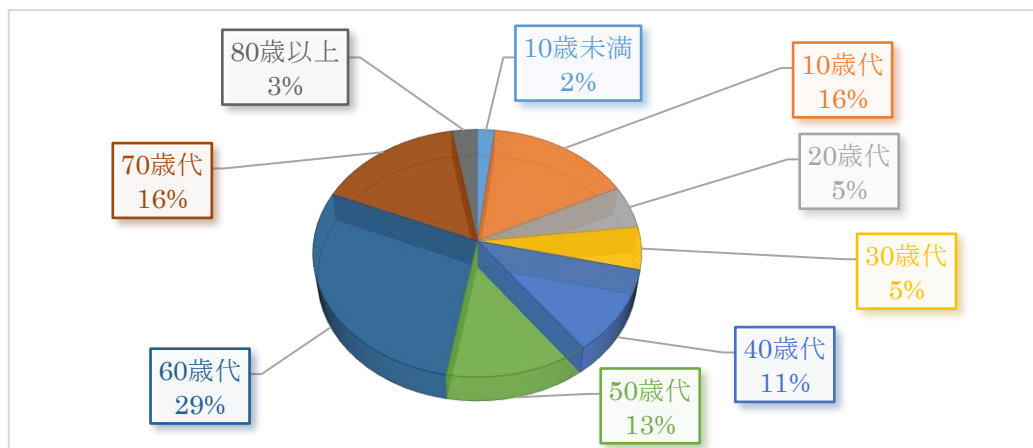
1. お住まいの市区町村はどちらですか？



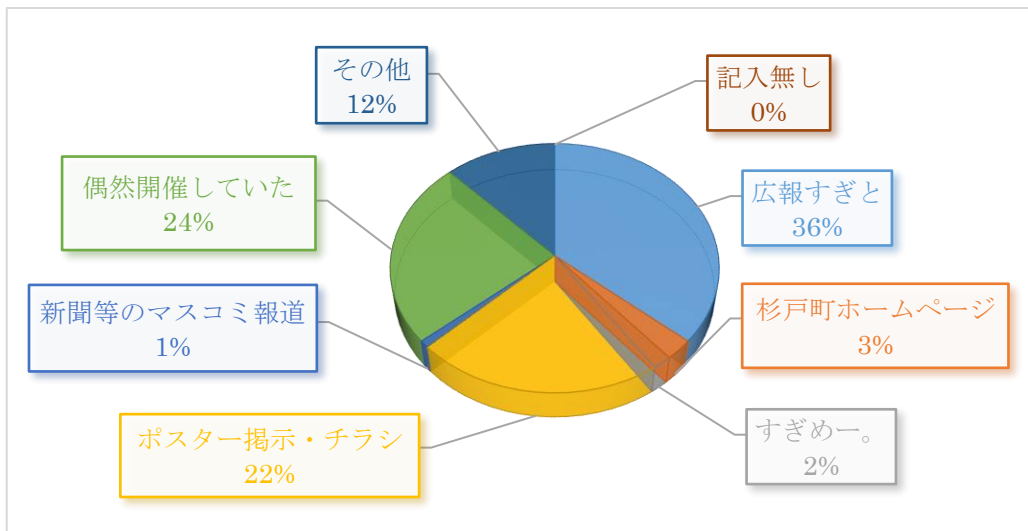
「その他（11%）」の内容：

越谷市、草加市、白岡市、蓮田市、さいたま市、上尾市、千葉県野田市、茨城県五霞町

2. あなたの年齢（年代）は？

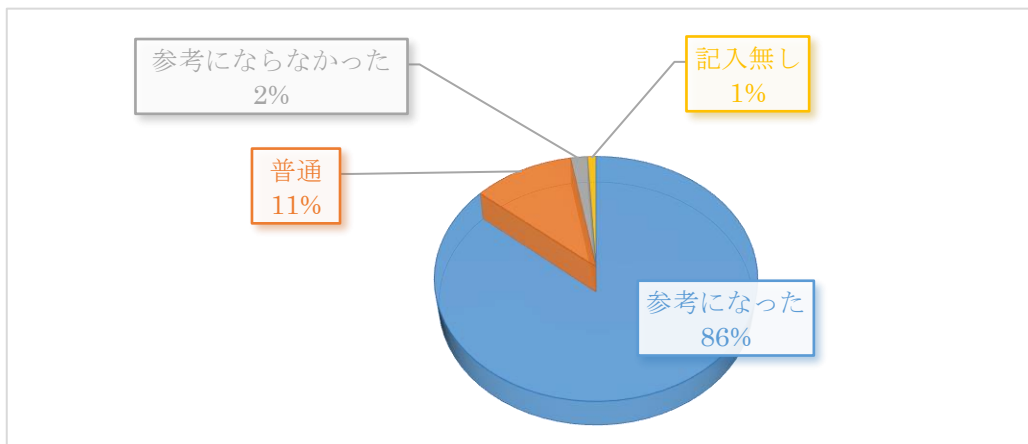


3. 平和企画展の開催を知ったきっかけは？【複数回答可】

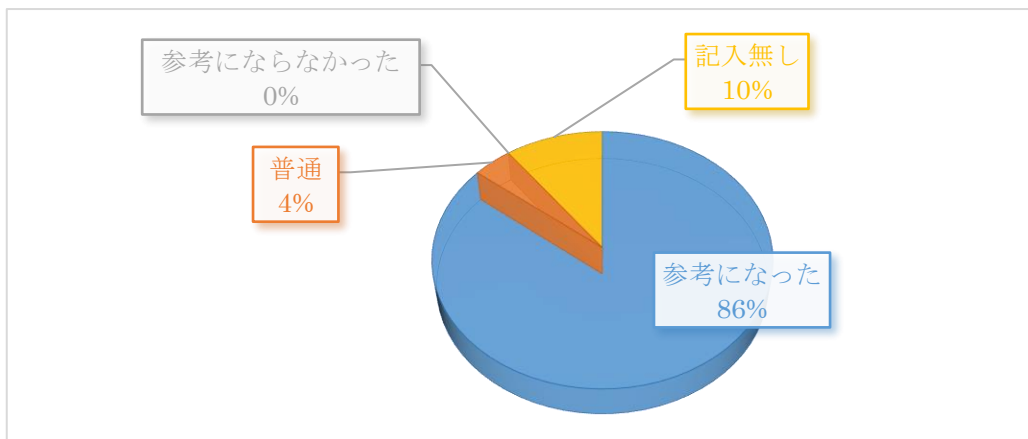


「その他（12%）」の内容：学校に配布したチラシ、親・知人等から聞いた

4. 企画・展示の内容はいかがでしたか？



5. 映画上映・講演・中学生の作文発表等容はいかがでしたか？



6. その他、今回の平和企画展に対する感想・意見等（要約）

- ・ 行政主体で平和企画展を開催することは、たいへん意義深いことだ。
- ・ 平和に対する、杉戸町の積極的な姿勢に感激した。
- ・ 平和祈念事業に積極的なことは、町民としてたいへん心強いことだ。70年の節目だけでなく、ずっと続けて欲しい。
- ・ 平和都市を宣言している杉戸町。日常的に戦争と平和について考えられる場を、これからも作って欲しい。
- ・ 町長が広島を訪問されたことは、たいへん素晴らしいことだ。杉戸町民として非常に嬉しく、誇りに思う。
- ・ 子どもと一緒に戦争（原爆）の話をする良い機会となった。
- ・ 幼い子どもと一緒に展示を見た。この子が大きくなって内容を理解できるようになるまで、ずっと平和企画展を続けて欲しい。
- ・ 人の幸せを祈れる人間教育を切望する。
- ・ 戦争の悲惨さを改めて感じた。若い世代に、もっと伝えて欲しい。
- ・ 過ちを繰り返さないためにも、しっかり語り継いでいかなければならないと思った。戦争のない、平和な国であり続けて欲しい。
- ・ 核兵器の脅威を実感した。領土問題など国際情勢に危機が訪れても、再び70年前のような惨劇を繰り返してはならない。
- ・ 核兵器が、世界中から無くなることを願う。
- ・ 黒田征太郎さんというアーティストを知るきっかけとなった。
- ・ 黒田征太郎氏の作品から強いパワーを感じた。
- ・ 安田和也氏の講演は、正確で非常に分かりやすい内容だった。
- ・ イベントの運営（司会進行等）に、高校生のボランティアが活躍していた点が良かった。
- ・ 中学生の作文発表に、たいへん感銘を受けた。
- ・ 中学生の作文発表では、祖父母から聞いた戦争体験を自分なりに考え、自分の言葉で表現していた。とても素晴らしい発表ばかりだった。
- ・ 昨年に比べて、現物資料の展示数が少なかったように感じる。
- ・ 杉戸家政女学校への空襲、杉戸農業高校の北海道援農・疎開受入等、地元の戦争被害について取りあげて欲しい。
- ・ 当時10歳、学校の帰りに杉戸家政女学校の空襲に遭遇したことを思い出した。その時は自分が狙われたのだと思い、地面に伏せたまましばらく動けなかった。大丈夫だと気づいて頭を上げると、アメリカのB29爆撃機が3~4機去っていくのが見えた。（80歳代）
- ・ 8月中旬に熊谷空襲の跡地を訪れたが、その当時の傷跡はほとんど残っていなかった。戦後70年、戦争を知らない世代がその惨禍を学ぶ機会には確実に減っている。平和企画展の開催に感謝する。（10歳代）
- ・ 戦争には加害者・被害者の両面がある。70年前の戦争は一体何だったのか、その全体像が知りたい。